

**国内最大級*のホテル×エンタメ施設からなる「東急歌舞伎町タワー」
屋外ビジョンを活用した映像クリエイター発掘・育成プロジェクト
「Kabukicho Creator's Gallery Project」の第一弾を始動します
—屋外ビジョン・屋外ステージなどに関する利用者向けの受付窓口を2022年10月1日に開設—**

東急株式会社
株式会社東急レクリエーション

東急株式会社および株式会社東急レクリエーションが新宿歌舞伎町で開発を進めている「東急歌舞伎町タワー（以下、「本施設」）」は、ホテルおよび映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設などからなる、地上48階・地下5階・塔屋1階、約225mの超高層複合施設です。

今般、2023年4月の開業に向け、本施設東側に設置する約200㎡（放映サイズ約164㎡）の屋外ビジョンや約143㎡の屋外ステージなどに関して、利用者向けの受付窓口を、2022年10月1日（土）より開設します。屋外ビジョン・屋外ステージは、本施設東側に隣接するシネシティ広場と一体活用したイベントも実施可能です。



▲一体活用イベントイメージ（映画イベント）

また本施設では、世界へ向けてさまざまなエンターテインメントコンテンツを発信するだけでなく、コンセプトである「“好きを極める場”の創出」の実現のため、「見出す～育てる～羽ばたかせる」いった新たな「好き」を生み出すストーリーづくりの一環として、映像クリエイターの発掘・育成を目的とするプロジェクト「Kabukicho Creator's Gallery Project」（以下、「本プロジェクト」）の第一弾を始動します。受賞者には屋外ビジョンの一部放映枠を提供するほか、賞金や副賞などを用意し、本施設が世界中の多種多様なクリエイターのギャラリー（表現の場）となるだけでなく、世界へ羽ばたく第一歩となるよう支援します。



▲Kabukicho Creator's Gallery Project イメージ

今後も世界へ向けた新たな都市観光の拠点として、屋外ビジョン・屋外ステージやシネシティ広場を活用したイベントなどを促進することで歌舞伎町エリアのにぎわい向上に貢献するだけでなく、クリエイティブ領域における人材発掘・育成の取り組みを継続的に推進することで、さまざまなエンターテインメント文化を創造・発信し、「エンターテインメントシティ歌舞伎町」の実現を目指します。詳細は、別紙の通りです。

【別紙】

■東急歌舞伎町タワーオフィシャルサイト

開業に向けた各種情報については、オフィシャルサイト(<https://tokyu-kabukicho-tower.jp>)をご確認ください。

■屋外ビジョン・屋外ステージ詳細

本施設東側に設置する約200㎡(放映サイズ約164㎡)の屋外ビジョンや、その下部に位置する約143㎡の屋外ステージだけでなく、隣接するシネシティ広場との一体活用も可能で、様々な用途で利用できます。

【1F 屋外ビジョン】

本施設東側に設置する約200㎡(放映サイズ約164㎡)の屋外ビジョン。
館内利用者だけでなく、歌舞伎町エリアの来街者へ訴求することが可能です。



▲屋外ビジョンイメージ

【1F 屋外ステージ】

本施設東側に位置する約143㎡のイベントスペース。

吊りバトン・照明・音響などの設備を備え、物販や展示、パフォーマンスイベントなど幅広いイベントに対応します。



▲屋外ステージイメージ

●屋外ビジョン・屋外ステージのご案内(2022年10月1日より開設)

東急歌舞伎町タワーオフィシャルサイト内

<https://tokyu-kabukicho-tower.jp/media>

●屋外ビジョン・屋外ステージなどに関する受付窓口(2022年10月1日より開設)

シネシティ広場・メディア事務局

E-MAIL: cinecitymedia@tokyu-agc.co.jp

【シネシティ広場との一体活用】

屋外ビジョン、屋外ステージ、シネシティ広場の一体活用により、新たな体験・文化の発信拠点となるにぎわいの創出が可能です。イベント展開例としては、スポーツイベント、映画イベント、音楽イベントなどを想定しています。

※シネシティ広場は、歌舞伎町タウン・マネージメントがエリアマネジメント活動を行っているイベントスペースです。

詳細は歌舞伎町タウン・マネージメントHP内のご利用案内

(https://www.d-kabukicho.com/eventspace/about_cinecity/)をご確認ください。



▲一体活用イベントイメージ(映画イベント)

■「Kabukicho Creator's Gallery Project」詳細

【目的】

- ・デジタルの世界でクリエイターのギャラリー（表現の場）を作ること
- ・本施設および歌舞伎町を、クリエイターエコノミーにおける象徴的な場所とすること
- ・クリエイターの創作パワーを通して、「エンターテインメントシティ歌舞伎町」の実現を目指すこと

【概要】

国内最大級のホテル×エンタメ施設からなる東急歌舞伎町タワーは、世界へ向けて、さまざまなエンターテインメントコンテンツを発信するだけでなく、クリエイティブ領域においても、世界で活躍する映像クリエイターの発掘・育成に力を入れていきます。

本プロジェクトは、文化やコンテンツ、行き交う人々など、さまざまな要素からなる歌舞伎町エリアで、世界にはばたくクリエイターを支援

していくための取り組みです。第一弾として、2023年4月の本施設開業時から、本施設東側に設置する屋外ビジョンの一部放映枠を映像クリエイターに向けて提供し、受賞作品を放映します。

あなたの作品が、歌舞伎町から世界へ。是非、このプロジェクトにご参加ください。

※詳細は本プロジェクトHP(<https://creators-gallery.jp>)をご確認ください。



▲Kabukicho Creator's Gallery Project イメージ

【受賞作品への賞品】

1) 賞金

最優秀賞(1作品)には賞金50万円、New Hope賞(5作品)には受賞者1名につき賞金10万円

2) その他

副賞や屋外ビジョンでの受賞作品の放映、関連メディアでの紹介など

【スケジュール】

- ・応募期間: 2022年9月29日(木) 14:00～2022年12月27日(火) 17:00
- ・受賞者発表時期: 2023年3月中旬(予定)
- ・作品放映時期: 2023年4月以降

【本プロジェクト関係者】

- ・主催: 東急株式会社、株式会社東急レクリエーション
- ・運営: 株式会社B-Side Standard、株式会社foriio
- ・協力: 株式会社TSTエンタテインメント、株式会社東急ホテルズ、株式会社Amadeus Code、株式会社ワコム、株式会社トラフィックス、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

【その他】

本プロジェクトは、やむを得ない事情により中止または内容が変更となる場合があります。予めご了承ください。

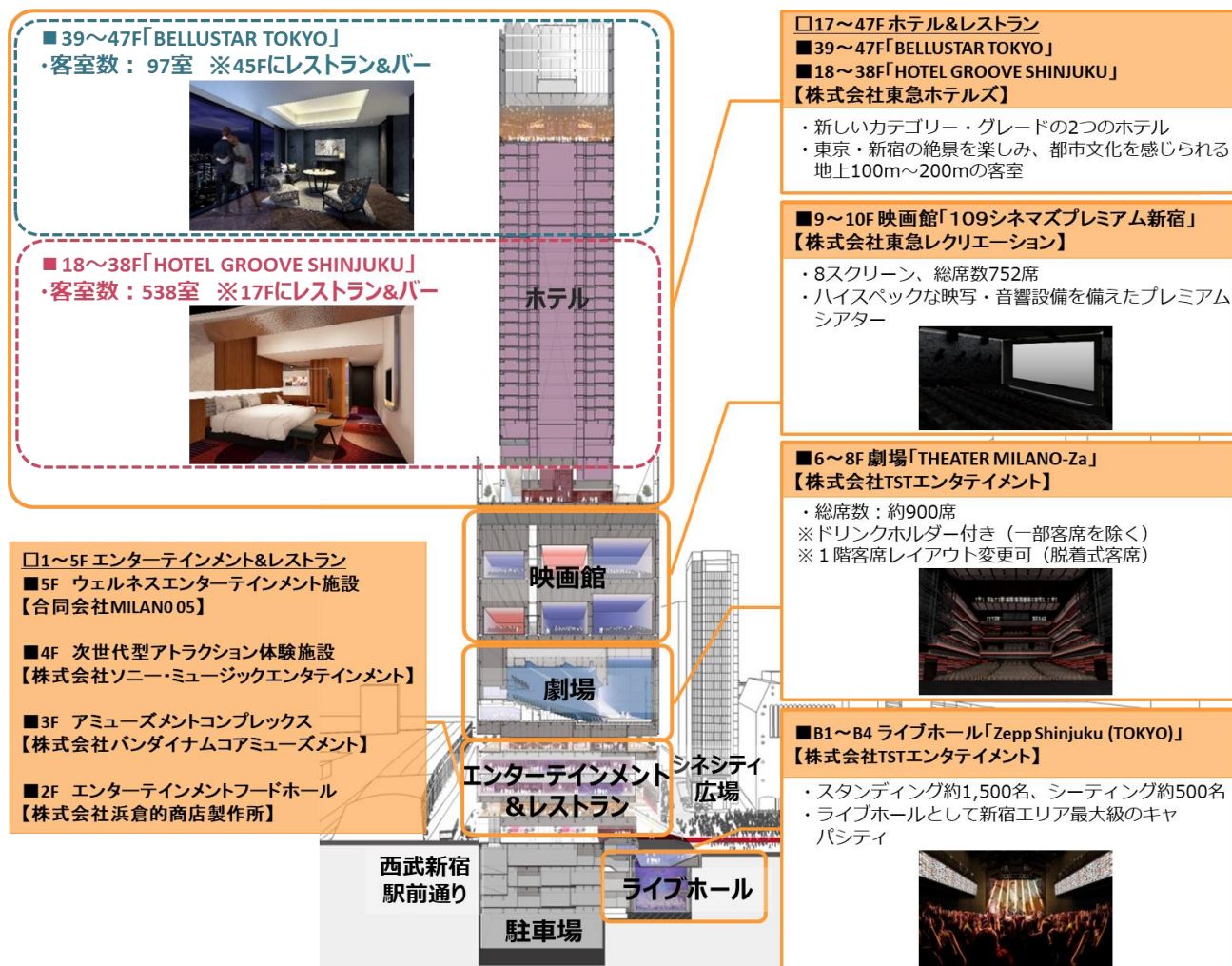
※本ニュースリリースに掲載されているパースは完成予想イメージです。今後変更となる場合がございます。

【参考】

■計画概要

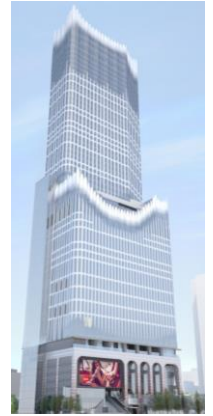
施設名称	東急歌舞伎町タワー
事業主体	東急株式会社、株式会社東急レクリエーション
所在地	東京都新宿区歌舞伎町一丁目29番1号
用途	ホテル、劇場、映画館、店舗、駐車場など
敷地面積	4,603.74㎡
建築面積	約3,600㎡
延床面積	約87,400㎡
階数	地上48階、地下5階、塔屋1階
高さ	約225m
設計者	久米設計・東急設計コンサルタント設計共同企業体
外装デザイン	永山祐子建築設計
企画・プロデュース	株式会社POD
施工者	清水・東急建設共同企業体
竣工	2023年1月11日(予定)
開業	2023年4月(予定)

■建築計画概要



■建築デザイン

歌舞伎町エリアにかつて川が流れていたことや、現在でも歌舞伎町弁財天が水を司る女神として祀られていることから、本エリアの根源的な要素である「水」を外観モチーフ「噴水」として継承しています。歌舞伎町の根底に流れる水のエネルギーが噴水のように天に伸びる姿や、水の持つ純粋さ、常に変化する柔軟さ、透明な水・白い水飛沫が多層に重なり合う優雅な姿を表現したデザインとなっています。日本で「水」を意味する文様「青海波」を導入し、窓のセラミックプリントや低層外壁アルミキャスト、アーチ窓などで表現しています。



▲本施設外観イメージ

■ブランドロゴ

ブランドロゴはデザインエレメントとロゴタイプを組み合わせて構成しています。

デザインエレメントは、外観モチーフである噴水の要素と、ピアノの鍵盤や音響機器のイコライザーといった、エンターテインメント性を内包し、ロゴタイプは、複数のブロックの組み合わせでできており、文化やコンテンツ、行き交う人々など、さまざまな要素からなる歌舞伎町の多様性を表現し、ブランドロゴ全体で、本施設が本エリアと一体となりさらなるにぎわい創出に寄与していきたいという願いを込めました。

デザイン
エレメント

ロゴタイプ



▲ブランドロゴ

■コンセプト

本施設では、「“好きを極める場”の創出」をコンセプトに掲げています。ホテルとエンターテインメントの複合施設という特性を活かし、「見出す～育てる～羽ばたかせる」といった新たな「好き」を生み出すストーリーづくりに取り組みます。そして、リアルとオンラインを通じて、それらのストーリーと合わせながら、「好き」に出会う機会や、そこに集う方々の「好き」への情熱が交感される場を創出することで、極められたさまざまな「好き」の想いとともに街の未来や文化、延いてはさらなる多様性を紡いでいくこと(MASH UP)を目指します。

東急歌舞伎町タワー
KABUKICHO TOWER
TOKYO
リアル×オンラインを通じた「“好きを極める場”の創出」

新たな「好き」を生み出すストーリーづくりと合わせて、「好き」に出会う機会や情熱・想いが交感される場を創出するとともに、本施設と歌舞伎町エリアが一体となり、街の未来や文化、さらなる多様性を紡いでいく（＝MASH UP）

歌舞伎町エリア
歴史・文化・人々に触れる
都市文化体験

▲コンセプト図

■歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿TOKYU MILANO再開発計画)概要

歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿TOKYU MILANO再開発計画)では、東急歌舞伎町タワーの整備と合わせて、まちづくりへの貢献として、空港連絡バスの乗降場整備や、西武新宿駅前通りのリニューアルなどを実施するとともに、隣接するシネシティ広場を中心とした公共空間と本施設が一体となったエリアマネジメントを地域団体と連携して実施し、まちの回遊とにぎわいを創出していきます。



▲一体活用イベントイメージ(地域連携音楽イベント)



▲まちづくりへの貢献